

助け合って生活するために

題材のねらい

避難所で秩序を保った生活を送る被災者の気持ちについて考え、集団や社会のルールを守り、身近な人々と協力し助け合う態度を育てる。

教科等との関連

学級活動 (1) -ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決
(1) -ウ 学校における多様な集団の生活の向上

展開例

	学習活動	指導上の留意点
導入	阪神・淡路大震災の被害を知る。	<ul style="list-style-type: none"> 学校が避難所になり、多くの人々が避難したことや水道やガスなどのライフラインが長期間途絶えた中での人々の苦労について知らせる。
展開	<p>列を作って給水を待つ人々の気持ちについて話し合う。</p> <p>災害時に避難所で決められるルール等の意義について話し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 待っている間の、人々のつらく不安な気持ちについて考えさせる。 並んでいる人たちの並び方や並んでいる人たちの様子から、整然と列を作ってルールを守っている姿に共感させる。 避難所でのルール例を知らせ、その意義について考えさせ、ルールを守ることによって、お互いが気持ちよく生活していけることなどに気づかせる。
まとめ	約束や決まりが尊重される学級はどんなに居心地が良いか考える。	<ul style="list-style-type: none"> 約束や決まりを尊重した行動は人々から賞賛されるに値することを伝えとともに、その学級の一員として身につけて欲しいことを伝える。

助け合って生活するために

A



兵庫をおそった大地しんの後、人々は、ひなん所で知らない人ときょう同て生活し、水や食べ物などが自由に手に入らない生活を送りました。そんなとき、人々は、やくそくや決まりを守り、おたがいにゆずり合って行動しました。その行動を全国や世界の人たちがほめたえました。

阪神・淡路大しんさいのときのルールは、その後各地のひなん所でも使われているんだよ。



阪神・淡路大しんさいのひなん所でのルールれい

B



室内で火を使ってはいけません。



トイレは大べんのみバケツの水で流してください。



放送は夜10時で終わります。



電気は夜10時に切ります。



ペットは、校しゃ内に入ってはいけません。



高い者、しょうがいのある人へ気配りしてください。

学級活動 3年

32

33

3年 学級活動

A

- 阪神・淡路大震災の時、多くの学校が避難所となった。(被害を受けた約12.3%の人が避難所へ避難した。)
- 災害時の対応のため、現在でも多くの学校が、避難所指定を受けている。

B

ライフラインの復旧について

水道・・・約90日 ガス・・・約84日 電気・・・約6日